



すずかけ

令和3年3月22日
No. 14 (第213号)



文責及び発行責任者：校長

中町北小学校のホームページ更新中 「中町北小」で検索

コロナ禍を児童とともに頑張り抜いた1年

校長

令和2年度の幕開けは、4月の始業式と入学式の直後、2か月にも渡る長期臨時休業となり、本格的な学校再開は6月1日。そのため、夏季休業日を大幅に短縮し、猛暑対策を講じながら授業を実施してきました。また、感染予防対策を最優先した教育活動を展開する中、様々な行事等の削減、変更を余儀なくされ、コロナ禍と闘いながら児童とともに私たちも懸命に歩んできた1年でした。



では、令和2年度を終えるにあたり、今年度の教育活動を振り返ります。今年度は、学校教育目標を「人権尊重の心を持ち 仲間とともに 意欲的に学ぶ ふるさと大好き 中北っ子の育成」とし、めざす児童像を「素直さと感謝の心を持ち あいさつでつながる中北っ子」、めざす学校像を「受容的・共感的・肯定的な風土のある学校」として取り組んできました。

まず、「命と人権の尊重」を基盤とした取組では、命の授業、福祉体験学習、人権集会、道徳授業の充実等、幅広く児童の人権意識の高揚を図ってきました。「いじめの未然防止・早期発見・早期対応」については、弁護士によるいじめ予防授業、児童会と連携した「あったかポスト」の設置等、児童の心を耕し未然防止を重視した取組を推進してきました。さらに、日々の児童観察や毎月の学校生活相談シートは、保護者の皆様と連携しながら取り組んできました。今後も、いじめはいつでもどこでも起こりうるという認識を持ち、未然防止等に粘り強く取り組んでまいります。「あいさつでつながる中北っ子」の取組では、「いつでもどこでも だれにでも」を合言葉とし、日常生活の中で「あいさつ運動」を中心とした基本的な生活習慣の確立等に努め、今年度は延べ107人の「あいさつ名人」が誕生しました。

また、「学力向上」の取組としては、年間を見通した「中北学力向上プラン」に基づき、子どもたちが「わかった！できた！」と実感できる授業づくりの充実、家庭学習強化週間を活用した習慣化の取組、読書意欲の向上等を推し進めてきました。町学力テストへの取組等についても、年間を通して計画的に進めてきました。その結果、子どもたちの基礎学力向上が一定の成果として表れてきました。今後も確かな学力の定着を目指す取組を、さらに充実させてまいります。



「ふるさと大好き中北っ子」の取組については、生活科や環境体験学習をはじめとして、本校の伝統である鼓笛や歌舞伎クラブの活動は、限られた時間の中で精いっぱい取り組んできました。とりわけ、マスク着用、無観客で実施した歌舞伎クラブ総仕上げの演技は、私た

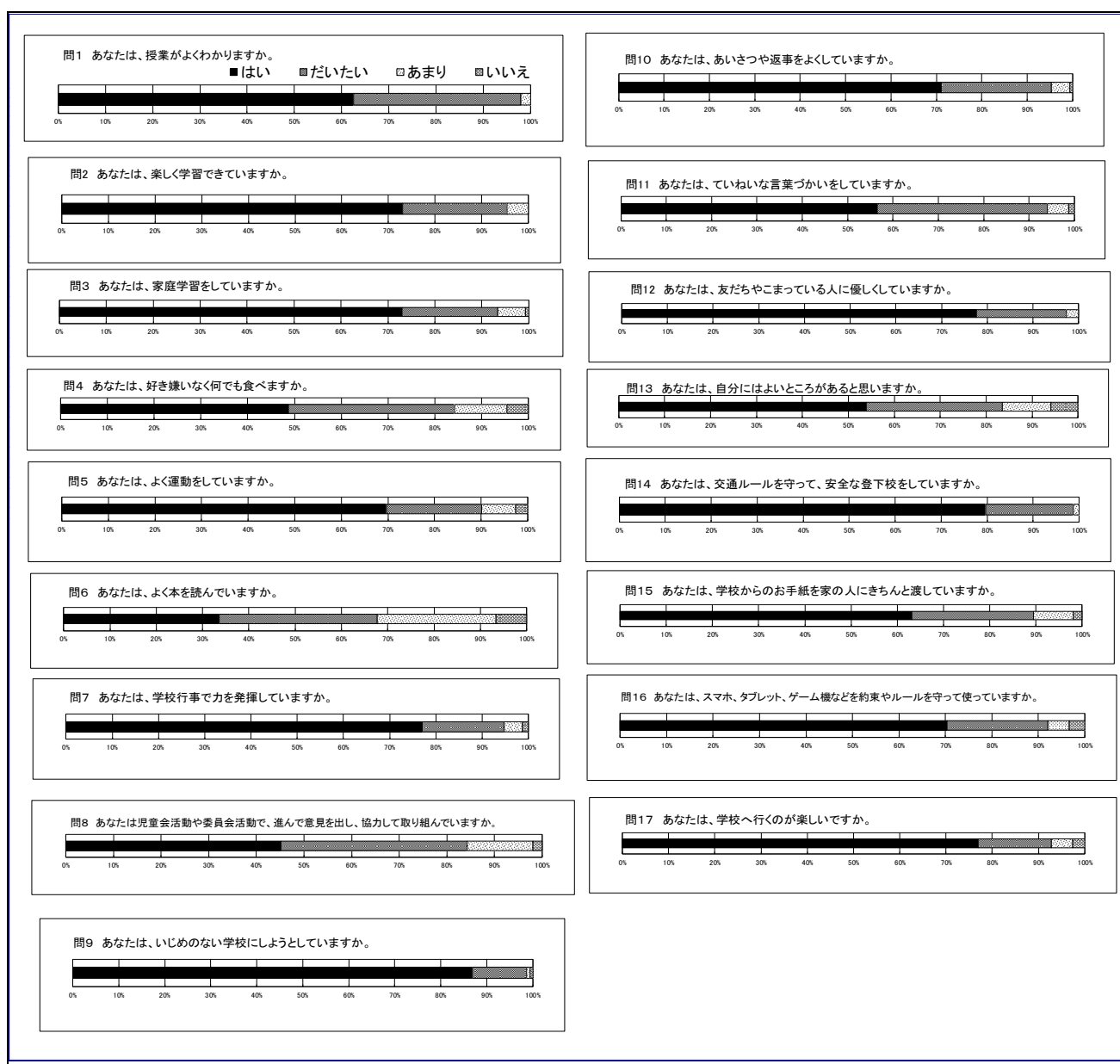
ちの心を打つものがありました。

結びに、コロナ禍に翻弄され続けた1年でしたが、子どもたちが元気に年度末を迎えることができたのは、保護者や地域の皆様方をはじめ、多くの方々のご理解とご支援のお陰と深く感謝いたしております。本当にありがとうございました。また、学校だより「すずかけ」の返信欄を通して、保護者の皆様からも貴重なお声、励ましのお言葉をたくさん頂戴し、大変嬉しく思っております。令和3年度も皆様方の変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度 後期学校評価結果(2月実施)について

保護者の皆様には、後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。以下のグラフにつきましては、「そう思う」「概ねそう思う」の合計が90%以上の項目を高評価として見ていきました。また、() 内の数字は、各項目を4点満点に換算した平均値を示しており、3.2以上を良好、3.2未満を要改善と見なしています。さらに、前期の数値との比較を(+0.1)のように表記しております。

【児童アンケート結果】



○良好な項目

- ・「授業がわかる(3.6: +0.1)」「楽しく学習する(3.7: +0.1)」「家庭学習をする(3.7: +0.3)」「よく運動をする(3.6: +0.2)」「行事で力を発揮する(3.7)」「いじめのない学校にしようとする(3.8)」「挨拶や返事をする(3.7: +0.1)」「丁寧な言葉遣い(3.5)」「友達に優しくする(3.8: +0.2)」「自尊感情(3.3: -0.1)」「安全な登下校(3.8: +0.1)」「SNS等のルール決め(3.6: +0.1)」「学校が楽しい(3.7: +0.1)」など

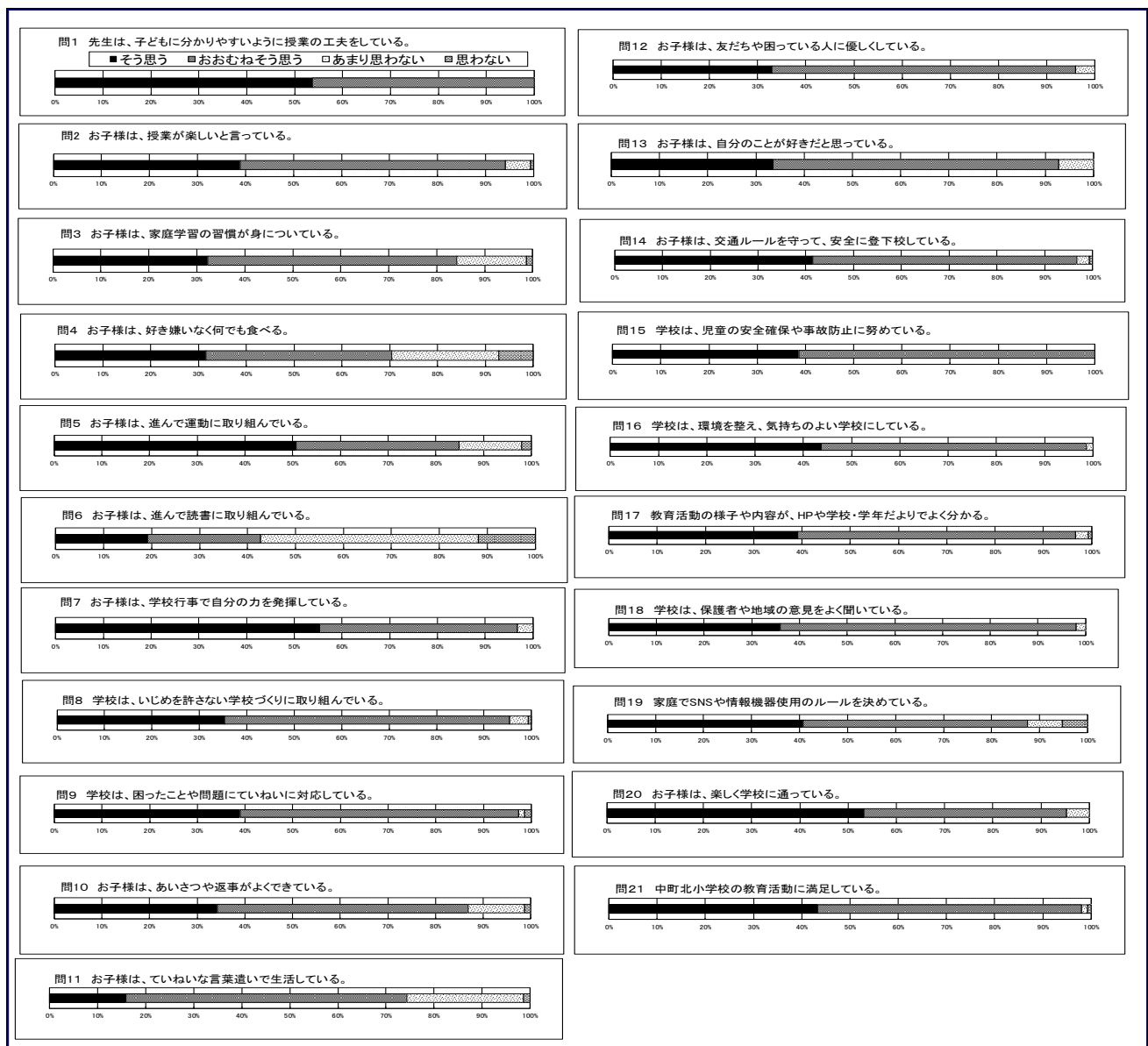
●課題と考えられる項目

- ・「進んで読書をする(2.9)」

☆考察☆

児童の自己評価は、後期も全体的に多くの項目で高評価となっています。子どもたちは自分から進んであいさつし、友達と協調しながら概ね明るく楽しい学校生活を送っている様子が伺えます。また、家庭学習チェック週間の取組等により、家庭学習のポイントが少し上昇したと考えられます。課題である読書習慣の定着については、引き続き、様々な手立てを考えながら改善に努めてまいります。さらに、自尊感情の育成についても、体験的な活動等を通して自分に自信を持つ場の設定を工夫してまいります。

【保護者アンケート結果】



○良好な項目（お子様の様子について）

- ・「授業が楽しい(3.3)」 「家庭学習の習慣化(3.2:+0.1)」 「よく運動をする(3.3:+0.1)」 「行事で力を発揮する(3.5:-0.1)」 「友達や困っている人に優しくする(3.3:+0.1)」 「自尊感情(3.3:+0.1)」 「安全な登下校(3.4:-0.1)」 「楽しく学校に通う(3.5:-0.1)」

○良好な項目（学校の実践について）

- ・「授業の工夫をしている(3.5)」 「いじめを許さない学校づくり(3.3)」 「困ったことや問題への丁寧な対応(3.3:-0.1)」 「児童の安全確保(3.4)」 「学校の環境整備等(3.4)」 「教育活動等の情報発信(3.4)」 「保護者や地域の声を聞く(3.3)」 「SNS等のルール決め(3.2)」 「中北小の教育活動に満足(3.4)」

●課題と考えられる項目

- ・「好き嫌いをなく食べる(2.9)」 「進んで読書をする(2.5)」 「丁寧な言葉遣い(2.9)」

☆考察☆

児童の学校生活並びに学校の実践については、前期と比較して±0.1ポイント程度の数値変化はありますが、保護者の皆様からは、後期も多くの項目で概ね肯定的な評価をいただいております。



一方、①「好き嫌いをなく食べる：児童(3.3)・保護者(2.9)」、②「進んで読書をする：児童(2.9)・保護者(2.5)」、③「丁寧な言葉遣い：児童(3.5)・保護者(2.9)」については前期と同様に今回もやや評価が低く、児童と保護者の認識に若干の差が認められるとともに、保護者の皆様が、ご家庭でお子様の様子をご覧になっている限りでは、やや不十分と捉えておられる様子が伺えます。

①については、児童の心身の健康維持・体力増進のために、今後ともご家庭や給食センター等、関係機関との連携の下、食育の推進に努めていきたいと思っております。②については、学校では、読書カードによる読書記録の蓄積、多可町図書館の貸し出し制度の活用など、読書習慣を培う取組を進めています。子どもたちには、家庭でのテレビやゲームの時間を減らすなど読書時間を生み出す工夫を働きかけ、読書意欲の向上に努めていきたいと考えております。③については、学校では丁寧な言葉遣いをすることを意識化させるなど、生活指導の重点項目の一つとして緩みない指導を継続し、乱暴な言葉遣いを見逃さないように取り組んでおります。また、学校では、子どもたちは概ね丁寧な言葉遣いを心がけていますが、そうでない場面に出合ったときは、私たちもその場で適切な指導をすることに努めています。相手とのより良い関係を構築するために、今後も児童に丁寧な言葉遣いの大切さを意識させる取組を継続してまいります。さらに、いじめ問題や問題行動等への対応についても、概ね肯定的な評価をいただいておりますことは、日々、ご家庭でのお子様の見守り、本校の実践に対する保護者の皆様のご理解とご協力、学校との十分な連携に努めていただいているお陰と感謝しております。

最後に、本校の教育活動への満足度につきましても、肯定的な評価をいただきましたことは、教職員一同、大きな励みとなります。ありがとうございます。全体を見渡して、若干ポイントが下がった項目などは改めて課題を整理し、改善策に基づいた取組を継続してまいります。



コロナ禍の見通しが不透明で今後も厳しい状況が続きますが、保護者や地域の皆様方のご支援やご協力をいただきながら、引き続き皆様と一緒にあって、優しくたくましい中北っ子の育成に向けて全力で取り組んでまいります。

【後期学校評価コメント】

○いつもお世話になりありがとうございます。最近、縄跳びに意欲的に取り組んでいて、ぐんぐん上手くなっています。良い機会を与えていただいて有り難いです。残り少なくなりましたが、宜しくお願いします。

- ・縄跳びが上達し、できる技の種類や回数が増えてきたことでしょうか。とても嬉しいことです。自分で目標を持って練習を重ねてきた成果の表れだと思います。これが自信となり、他のことにもチャレンジする意欲に繋がることを期待しています。

○いつもお世話になり、ありがとうございます。学校では家と違って外用の姿で頑張っているように思います。家でも時々外用の姿を見せてくれることがあり、頼もしくなってきたと感じています。家ではまだまだですが、バランスを取っていると思い、受け止めていこうと思います。学校生活の中で社会性が育ってきていることを嬉しく思います。今後も宜しくお願いします。

- ・子どもたちが学校で見せる姿と、家庭で見せる姿は、随分違うこともあると思います。学校での集団生活をとおして、仲間とのより良いコミュニケーションの取り方、トラブル等への対応能力など様々な力を身に付け、そのことが社会性の育成に繋がっていきます。

○コロナで大変な時ですが、感染に留意し内容や学校行事など工夫していただき、ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

○コロナの不安な生活に少し疲れてきている様でイライラもしていますが、子どもの話によると、その中でも楽しく勉強出来るように工夫してくださっていると感じます。ありがとうございます。

- ・ありがとうございます。保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご理解やご支援のお陰で、ここまで歩んでくることができました。この1年余り、これまでの学校生活が一変し、楽しみにしている行事等が次々と削減されるなど子どもたちも我慢の連続だったと思います。来年度はコロナ禍が少しずつ収まり、これまでのような学校生活のリズムが戻ってくることを願って止みません。

あいさつ名人に認定しました！

3月2日(火)の児童集会で、今年度、第3回目のあいさつ名人表彰を行いました。今回は2名を「永久あいさつ名人」、41名を「あいさつ名人」に認定しました。「永久あいさつ名人」とは、1年を通して安定したさわやかなあいさつを続け、全校生のあいさつの模範となる児童に与えられるものです。殿堂入りとしてその頑張りを称え、「永久あいさつ名人」として認定しています。



【永久あいさつ名人】

6年 2人

【あいさつ名人】

1年

2年

3年

4年

5年

6年

【地区】 岸上 安楽田(女子) 間子 鍛冶屋(公民館前)

学校だより『すずかけ』返信欄から

毎回、ご感想やご意見をいただきありがとうございます。「すずかけ」は、保護者の皆様のお声を掲載し、学校改善に役立てていきたいと考えています。「すずかけ」3月1日号よりお寄せいただいたご感想等を紹介します。

- 1年間、様々な体験や経験をしてきた中で、少し気が緩んできたなと感じる面も増えてきました。進級を控えて、もう一度気を引き締めるラストの月であってほしいと思います。(1年 母)
- ・入学してから1年が経過し、学校生活にも慣れてきたため、少しそのような面が見えてきたのかもしれませんが、どの学年においても、学習面・生活面ともども自分を振り返り、しっかりと1年を締めくくって進級へと繋いでいきます。
- 自分で決めた目標に向かって頑張ることはとても大事なことです。できなくても、成長につながることでしょう。これからも続けてほしいです。(1年 母)
- ・大きな目標を達成するためには、それに向かって粘り強く諦めず努力する心と、時間が必要だと思います。一方、少し意識してクリアーできる小さな目標ならば、子どもたちも立てやすいでしょうね。それを積み重ねていくことで、大きな目標の達成に繋がったら喜ばしいことですね。

学校だより「すずかけ」3月22日号の内容はいかがでしたか。お読みいただいた後は、お手数をおかけいたしますが、下記の「読みました」に○を付けてご提出ください。また、紙面や学校の教育活動等についてのご意見、ご感想等をどんどんお寄せください。なお、ご意見等は紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

学校だより「すずかけ」3月22日号返信欄 キリトリ線

読みました () 年 父・母・祖父・祖母・その他 ()

※紙面への掲載が不可の場合は×をつけてください。()

【ご意見・ご感想欄】